

一般質問

都市計画道路山田伊丹線

鈴木 久美子 議員



問 地域住民による事業認可の取消しを求める提訴、測量実施に対する抗議運動が起きたことについてどのように受け止めているのか伺う。

答 都市計画道路山田伊丹線の昆陽泉町工区の事業化について、賛否の声があることは承知している。事業に対し、反対意見や不安を感じている方々と話す機会を大切にするため、用地測量などの機会を捉え、できる限り職員が作業の間、現場に常駐することで説明できる体制を整え、地域住民への事業説明に努めている。

今後も、これまでと同様に、権利者の皆さんの意向にできるだけ寄り添い、事業に協力いただけるよう取り組んでいく。

分散避難

～変わる避難のあり方～

山藺 有理 議員



問 指定避難所で新型コロナウイルス感染予防対策を実施した場合の現状の収容人数、新たな指定避難所以外の避難所選定と確保の取り組み、さらには、避難所に集まることだけが避難ではないという分散避難への見解を伺う。

答 震度7の地震で想定される避難者数は約15,000人で、感染症に対応した収容人数では約7,600人となる。避難所として公共施設等を順次開設するが、さらに、必要な場合は、民間のホテルなどの活用を検討している。分散避難として在宅避難等も考えられるが、課題は、救助救援情報が伝わらず救援物資が行き渡らないことである。これについては、屋外拡声器、エフエムいたみ、SNS等で知らせしていく。

新型コロナ禍での医療体制の現状と充実策

新内 竜一郎 議員



問 PCR検査は、市民の生命を守るための重要なものである。本市における現在の検査体制の実態、また、第2波、第3波を考慮した充実策について見解を伺う。

答 県によると6月10日現在、PCR検査数は1万1,771件で、うち699人の陽性が確認されている。

今後の充実策として、県立健康科学研究所に検体前処理等を自動化するシステムを導入してPCR検査処理能力を上げることや、伊丹健康福祉事務所管内に検査体制の拡充に向けた地域外来・検査センターを1箇所設置する方向で検討していることから、本市としては市医師会と協議を進めていく。

災害時における避難のあり方

安藤 なの香 議員



問 災害時の家族の安否確認や集合方法を事前に共有するため、どのように周知や啓発を行っているのか。また、新たに導入する「ひょうご防災ネット」の機能は。

答 防災マップ&市民べんり帳を全戸配布し、避難所や緊急連絡先を記入し常備できるようにしている。情報は、広報伊丹やホームページで広く伝えるとともに、出前講座等を通じ一層の周知啓発を図っていく。また、「ひょうご防災ネット」は、アプリを活用することで、事前の災害リスクや避難のタイミングを保存できるマイ避難カード、気象や避難情報等のプッシュ通知、最も近い避難所の地図表示、12外国語対応の音声読み上げサービス等が可能となる。

都市農業の現状

～新型コロナ禍での被害状況と今後の対応～

里見 孝枝 議員



問 新型コロナ禍での本市の都市農業における被害状況と、農家への今後の対応策について見解を伺う。

答 小中学校の休校に伴い、給食に提供予定の玉ねぎが納品できず、急遽、直売所等での販売に替えたことや、これから収穫期を迎える各種観光農園も感染拡大防止のため、市民向け収穫体験行事等の中止を検討される等、野菜を生産品目とする市内農家への影響は楽観視できない状況にある。今後の対応として、国の第2次補正予算で農林漁業者の事業継続を支援する経営継続補助金が創設されたことから、各種支援策に係る情報を農業者に確実かつ迅速に提供するとともに円滑な申請受付に繋げていく。

新型コロナウイルス感染下における学校生活での心のケアを

土井 秀勝 議員



問 様々な問題が考えられる状況下において、学校生活での心のケアについて予防策や対応策を伺う。

答 予防策は全児童生徒に対してストレスチェックを行い、気持ちや体調の変化を把握し、困り事や悩み事、不安な事を気軽に教員、スクールカウンセラー等に相談してよいことを周知している。心のケアの充実を図るための対応策としては、通常は週1回配置のスクールカウンセラーを6月第1・2週は週2回とし、児童生徒や保護者への直接的なカウンセリングや校内巡回、気になる児童生徒へのサポート、心のケアに関する教職員研修なども行っている。また、スクールソーシャルワーカーなどを活用し、相談体制の充実を図っていく。

議案 審査

令和2年第3回定例会では、議案は41件でした。

ここでは、専決処分報告を除く全議案のリストと、これらの議案が付託された3つの委員会の内容をご紹介します。なお、賛否が分かれた議案はありませんでした。

議会では本会議から委員会に議案を付託して、詳細な審査をするんだ。伊丹市議会では3つの常任委員会があるんだ。



総務政策常任委員会

○令和2年度 一般会計補正予算(第4号)



10億7,846万円を追加補正

新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き、暮らしの回復支援や感染拡大防止対策を実施するとともに、小中学校等の児童生徒1人に1台ずつタブレット端末を整備するなど、ICT教育の環境整備が図られます。

また、その他の事業として、千僧今池を埋め立て、公園や新保健センター等複合化施設用地等としての利用や、老朽化が著しい荒牧トンネルの拡幅整備が行われます。

その他の議案

- 市長等の給与に関する条例の一部改正
- 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
- 市税条例等の一部改正
- 市税外収入に係る督促手数料及び延滞金の徴収に関する条例の一部改正
- 消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- 令和2年度 一般会計補正予算(第6号)



文教福祉常任委員会

- 国民健康保険税条例の一部改正
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 児童くらし条例の一部改正
- 後期高齢者医療に関する条例及び介護保険条例の一部改正
- 生涯学習センター条例の一部改正
- 緑ヶ丘体育館・緑ヶ丘武道館等の指定管理者の指定期間の変更及び指定管理者の指定
- 備品の取得



都市企業常任委員会

- 自転車駐車場条例の一部改正
- 地方活力向上地域における固定資産税の税率の特例に関する条例の一部改正
- 市営住宅条例の一部改正
- 中心市街地駐車場及び市立文化会館駐車場の指定管理者の指定
- 市道路線の認定

委員会付託なし

- 新庁舎整備工事の請負契約の一部変更契約
- JR伊丹駅前駐車場大規模改修工事の請負契約
- 東中学校大規模改修工事の請負契約
- 花里小学校大規模改修工事の請負契約
- 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- 令和2年度 一般会計補正予算(第5号)
- 監査委員の選任
- 農業委員会委員の任命(11件)
- 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
- 教職員定数改善と少人数学級推進を求める意見書

議決 結果

議案は、委員会審査のあと本会議で議決されます。第3回定例会の議案41件全てが可決・承認されました。



議案 38件 報告 1件 意見書 2件